

会 議 録

1 会議名

令和3年度第2回牧区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

○協議事項（公開）

令和3年度地域活動支援事業審査結果の報告

3 開催日時

令和3年5月18日（火）午後6時30分から午後7時00分まで

4 開催場所

牧区総合事務所3階 301会議室

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

- ・委員：西山新平（会長）、飯田秀治（副会長）、井上光廣、小黒誠、折笠忠一、坂井雅子、佐藤祐子、高澤富士雄、難波一仁、横尾哲郎
- ・事務局：牧区総合事務所 山岸所長、隠田次長、飯田グループ長、藤井班長、田中主事（以下、グループ長はG長と表記）

8 発言の内容（要旨）

【隠田次長】

- ・会議の開会を宣言。
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告。

【西山会長】

- ・挨拶。
- ・所長に挨拶を求める。

【山岸所長】

- ・挨拶。

【西山会長】

- ・会議録の確認：井上委員に依頼。
- ・令和3年度地域活動支援事業審査結果の報告について、事務局に説明を求める。

【藤井班長】

－資料に基づき説明－

- ・令和3年度地域活動支援事業審査結果について説明を行う。
- ・説明に入る前に、前回の地域協議会を振り返り、決定した事項について確認する。提案された14事業のうち、採択とした事業が13事業、不採択とした事業が1事業となった。採択とした13事業の補助金希望総額が523万6千円となり、牧区の配分予算額500万円に対し、23万6千円の超過となったことから、審査票②の「共通審査」の採点結果で、総得点の高い上位1位から8位までの提案事業は補助率を100%、9位から13位までの提案事業は補助率を90%とした。この補助率により補助金額を算定すると、500万2千円となり、牧区の配分予算額を2千円超過することから、13位の提案団体で補助率を調整した。
- ・具体的な事業名称をあげると、1位の「宮口古墳美化活動事業」から8位の「地域の活性化事業」までは補助率を100%として、補助金希望額がそのまま補助金確定額となる。9位の「笑顔育む檜谷の里景観づくり事業」から13位の「川上 山里の風事業」までは補助率を90%として算定した値が補助金確定額となる。この結果を基に、提案団体へ結果通知書を送付することになる。なお、不採択とした提案団体に対しては「採択とならない理由」を明記する必要があるため、結果通知書の記載内容についても意見をいただきたい。

【西山会長】

- ・今程、事務局から説明があった内容について、意見や質問はないか。
(一同異論なし)

【西山会長】

- ・意見・質問がないようなので、令和3年度の地域活動支援事業については報告の内容のとおり決定することとし、総合事務所に報告する。
- ・次に、その他の連絡事項にうつる。

【藤井班長】

- ・「自主的審議事項検討業務（アンケート調査）の実施」について、こちらは報告となるが、前回定例会においてアンケート調査の設問項目を確認いただいた。その際、指摘のあった部分を修正し、区内のスポーツ教室3団体の代表にアンケート調査用

紙の配布を依頼し、提出期限を6月4日金曜日までとしてお願いした。

- ・「中郷区地域協議会からの意見書提出」について、情報提供する。令和3年5月10日付で中郷区地域協議会から『勝馬投票券場外販売所立地関連地域振興基金の活用による「未来の子ども達がいつまでも住み続けたいまちづくり」についての意見書』が提出された。
- ・「「牧区地域協議会だより（第52号）」6月25日号発行」について、発行に伴い、3班が編集担当となる。佐藤委員、清水委員、高澤委員となる。

【西山会長】

- ・事務局からの連絡事項含め、意見や質問はないか。

【難波委員】

- ・先日の地域活動支援事業の審査の中で思い出したことがある。それは、数年にわたりこの事業が行われてきている中で、当初の頃、牧保育園の保護者の方々から「田島公園の遊具等の整備を行いたい。」との提案があった。それに対して、地域協議会委員の中から「区民が地域を盛り上げるためには必要な事業だとは思いますが、田島公園は市の公園であり、本来は市がやるべきである。」という意見が出た。その活動を100%の補助率とするために他の事業で調整した記憶がある。今回、柳島老人クラブの提案内容を聞いたときに、苗は市からもらったと聞いた。宮口古墳花の会に関しても、活動してもらうのはいいと思うが、最終的に市の土地が美化されるものであり、苗は市の方で用意することがあっていいのかと考える。

牧区防災士会に関しても、あくまで地域の防災士会の方々の活動であり、支援事業で悪いという訳ではないが、上越市も安心安全を提言していることや、他の地域にも防災士会のような団体組織があることを踏まえ、市の事業としても考えていいのではないか。市も予算等が予め決められていると思うが、美化や安全のための市の予算配分の充実も踏まえた上で地域活動支援事業を行えば、他の提案に還元することもできる。来年以降、地域協議会委員や総合事務所職員の方々の検討材料になればと考える。

【西山会長】

- ・ご意見として何うことでよろしいか。

【難波委員】

- ・はい。

【小黒委員】

- ・市民プラザにたくさんの苗木が置いてあり、いろいろな町内会の人を取りに行っている様子を見たことがある。

【西山会長】

- ・基本的に、牧で行っているものと同じではないか。

【山岸所長】

- ・柳島の植栽は、沿道花壇と言って都市整備課が苗木を用意するものであり、小黒委員が見られたのが同様かどうかは不明である。

【難波委員】

- ・都市整備課の仕事であることは承知しているが、それを調整するのは総合事務所の仕事ではないか。

【山岸所長】

- ・沿道花壇は道路の景観を目的としているので、それを事務所として調整して、宮口の資料館に植えることはできない。

【難波委員】

- ・担当課の方へ要望を出してもらえばいい。

【山岸所長】

- ・先日のヒアリングで宮口古墳花の会の宮澤さんが教育委員会の文章を朗読された。教育委員会からもありがたい取り組みだと意見が出ている。事業を行っているのは牧区だけではないので、他の総合事務所等を含めた平等性も考慮しなければならないが、来年度予算に反映してもらおうよう総合事務所から意見を伝えることは可能である。牧区防災士会に関しても、担当課は危機管理課になるが、一生懸命取り組んでいる姿から、予算の面も意見を伝えたいと思う。

【小黒委員】

- ・地域活動支援事業が来年もあるかは分からない。しかし、可能ならば一生懸命頑張っている人のためにも要望を伝えた方が良くと思う。

【山岸所長】

- ・地域活動支援事業の有無に関わらず、今回出た意見に関しては担当課に伝えたいと

思う。

【坂井委員】

- ・地域活動支援事業とは別の話になるが、コミュニティプラザの駐車場のラインが新たに引かれた件について、全てのラインが引かれていない現状である。必要最低限の印のみで、高齢者が駐車する際まっすぐ駐車できないとの意見を多く伺った。予算が減らされた関係や、塗料の代金が高額であることも分かるが、高齢者はまっすぐ駐車することができない。ラインを全て引けないならば、点線だけでも引いてもらえると高齢者は駐車しやすくなると思われるため、検討していただきたい。

【山岸所長】

- ・まず、コミュニティプラザの駐車場を優先してラインを引いており、多目的駐車場や総合事務所の駐車場まで取りかかれていない現状である。塗料に関しても工面している。事務所としては、業者に依頼する予定で予算を上げたが了承を得られず、職員が慣れない作業を行っている状況である。

【高澤委員】

- ・塗料の代金は高いのか。

【隠田次長】

- ・一斗缶で8千円、9千円くらいである。

【飯田委員】

- ・コミュニティプラザのラインについて5、6年前にも地域協議会で意見が出たが、事務所に要望して10月下旬か11月の雪が降り始める頃、やっと要望が通って線を引く作業に取りかかれたとのことだった。同じことを二度も繰り返してほしくない。
- ・予算がないと一言で終わらせるのではなく、どうしていくのかも踏まえ、今後お願いしたい。

【西山会長】

- ・意見を求めるが無く、飯田副会長に閉会のあいさつをお願いする。

【飯田副会長】

- ・会議の閉会を宣言。

9 問合せ先

牧区総合事務所総務・地域振興グループ TEL : 025-533-5141 (内線 147)

E-mail : maki-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。